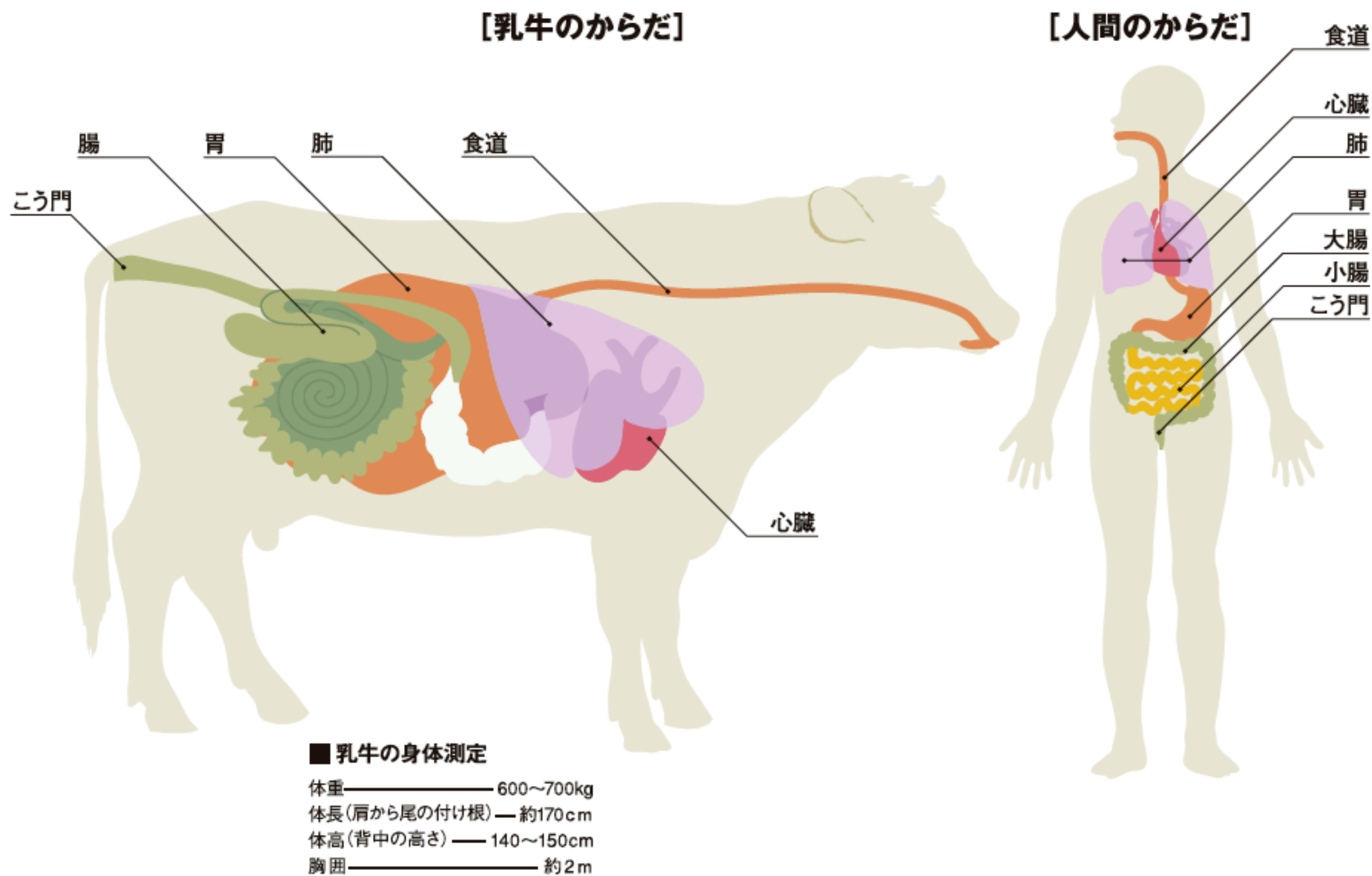


乳牛と人間のからだ

乳牛も人間も、口で呼吸をし、肺から酸素をからだの中に取り込みます。また、口で食べものを食べ、食べたものは、胃や腸などの消化器官で消化され、こう門からふんとなって出されます。乳牛と人間のからだの働きはよく似ていますが、違いもあります。下の図を見ながら、消化器官をくらべてみよう。

理科 Science



■ 乳牛の身体測定

体重——— 600~700kg
 体長(肩から尾の付け根)—— 約170cm
 体高(背中の高さ)—— 140~150cm
 胸囲——— 約2m

1日の食事量 青草で50~60kg 乾燥した草で15kg

乳牛の食べものは、人間とはずいぶんちがいます。乳牛の主食は草です。また、人間のちがちな食べものは、小麦モロコシや大豆、砂糖大根のすりかす、^{かん}粕などがあり、これらからデンプンやたんぱく質をとりまわす。

1日のふんとうよう ふん30~50kg ぼう15~25kg

乳牛はからだが大きく、たくさん食べるので、ふんやぼうもたくさん出します。おぼろふんは、人間の本重と比べてみると、その量が多さがわかります。